

門信徒だより

2020 5月 中旬

和上 発

改めて我ら聖人の御手許を訪ねて、六字名号のお話です。

さんぶきょうしゃく
三部経釈に

「因位いんにの時専ら我が名号を念ぜん者を迎えんと誓ひ玉
ひて兆載永劫ちようさいようこうの修行を衆生しゅじように廻向えこうしたもう」

とありて、本宗聖人は弥陀に限りて名号を廻向して信を
すすむるは未だ諸仏にはなし。と申されました。

聖人の御本地ごほんじである涅槃ねはんの三徳さんとくを訪ねますと、法身の徳ほっしん・
般若はんじゃの徳げだつ・解脱げだつの徳であります。

この不思議業相ごうそうの世界は、我ら如来聖人のサトリの果を
得られた覚者に自然じねんに備わる徳と云われます。

今回は蓮如上人のいろは歌から、

”六道にひく業障の綱を切る、剣なりけり弥陀の名号”

を縁として「弥陀の名号」を訪ねてみますと、

般若はんじゃの徳、即ち権者ごんじゃの智恵の御徳で、前聖人の仰せには、

「名号は何ものを以て おおいかくそうとしても、か
くすことのできない焼ゆる佛心おたけの雄叫び」

が如来聖人の口音宣述こうおんせんじゆつによってその周囲に居られる人々
に対して為される所作しよさでありました。

聖人の仰せは先ず、名号みょうごうは名体不二みょうたいふにの特長を持たれ
「名」みょうは、たとひ罪業は深重いえどなりと雖も必ず救ふべし。
と喚び上げ下よさる招喚しょうかんの勅命ちよくめいであり、
「号」ごうは勅命の内容で、攝取不捨せつしゆふしやかくの如ごとしの佛体ぶつたい
であって、名言みょうごんと仏体ぶにの不二の關係が成立しております。

次は「攝取して捨てざれば阿弥陀と名けたてまつる」
名体不二の名号は、

南無きの機と阿弥陀仏の法とを一つの名号のうちに
含識がんしきし玉たまふを南無阿弥陀仏の体と申され、これが弥
陀独特の法なることが明かされました。

南無の機は我らからすれば弥陀をたのむはずみは・ず・みとなっ
て下ごうりきさる業力せんびょうを詮表してくださる佛心であり、
阿弥陀佛の法は、南無の機ごうじょうえんの為の増上縁がんりきとなって、願力
不思議を如来廻向として働かれる法の仕組みきほういったいの機法一体
の特長なのです。

この二大特長を持つ我らの名号成就を法然上人ほうごの法語か
ら仰げば、

「弥陀如来は因位いんにの時、もっぱらわが名号を念ぜんも

のをむかへんとちかひ給ひて、^{ちようさいようこう}兆載永劫の修行を衆
生に廻向し給ふ。^{じよくせ}濁世のわれらが^{えこ}依怙、末代の衆生
の出離、^{しゅつり}これにあらずばなにを^ごか期せんや。これに
よ^りて、かのほとけもみづから^{がこんちようせがん}我建超世願となのり
給へり。三世の諸仏も、いまだかくのごときの願を
ばをこし給はず。十方の^{さった}薩埵もいまだこれらの願は
ましまさず。」

とあります。

この指南は弥陀一仏のみが^{しゅじよう}名号を衆生に廻向されること
の証文で、この名号は凡夫に対して第十八願の「信」を
与ふる為に成就下さったことが目的でありました。

これを十八成就文には^{もんごみようごう}「聞其名号」と仰せで、その名号
を^{しんしん}聞きひらかれたる時「信心歓喜」の「信心」があらわ
れて、

この信（^{しんぎよう}如来の信楽）が^{むみよう}我らの無明を破って^{えみよう}恵明の光りが
自我の魂に輝かれ、^{ほうおん}命あらん限り報恩の人生を展開させ
て下さるのでした。

正信偈の小経を明かす段には、

「弥陀仏の本願念仏は、邪見・憍慢・悪衆生、信楽受
持すること甚だ以て難し、難中の難これに過ぎたる
は無し」

の信樂しんぎょうが第十八願ちゅうかくの中核と明かし、これこそ、如来ご自身の満足えんゆう・大悲むげ・円融いとく・無碍いんげんの威徳がこの願心いんげんに印現いんげんして、

信樂に満足えんゆうの働きあるゆえに我らの願樂がんぎょう悉々く満足せずと云うことなし。

大悲の働きあるが故に樂を与ふるときはみなし。

円融えんゆうの働きあるゆえに能所不二のうじよふにと転ぜられ、無碍むげの徳あれば一切こうたくみな光沢こうむを蒙る。

と御宗祖しやくいの釈意でありました。

第十八願の如来の三信が信樂に納められ、この信樂を凡夫に与えん為に乃至十念の弘願念仏がある。

何とした如来本願の仕掛けでありましょうや。

この五劫思惟の本願こそ六字名号のお体であり、今はこのお体が如来聖人みょうしょうの名声となって現在の我らに発表されて、乃至一念と定まる時、如来いんじの因地の万行かじ・果地の万徳が摂取不捨の姿と現れて三重の生死の罪まつに締わられて全く自由なき盲目の我らに顕現される本願の不思議力こそ、鬼が念佛し、悪魔が心の手こころに念珠をかける如き光景こそ、在家仏教の神髓でありましょう。

不 許 複 製

所有者 弘願真宗総本山聖玄寺法燈局

住所 福井県福井市羽水 1-303